

宇土市報道資料

－お問い合わせ－

まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



令和7年5月13日

宇土駅開業130年の歴史を次世代に残したい

写真誌を個人で発刊！

写真誌 宇土駅130年の軌跡～時の流れを見続けた宇土駅～

発刊者 九谷新吾（個人）

自費発刊 300部（無償） 全18P 令和7年5月発刊

【写真誌発刊の目的】

前身九州鉄道が川尻駅から松橋駅まで開通し、宇土駅が開業したのが1895年（明治28年）1月28日。その4年後1899年（明治32年）宇土・三角駅間が開通しています。

宇土駅は、今年開業130周年、明治、大正、昭和、平成と時代の流れを見続けてきました。

宇土の発展とともに歩んできたその駅も時の経過とともに駅舎と駅界隈は変貌、さらに当時の面影を残す駅舎や駅周辺界隈の貴重な写真も散逸し私たちの記憶から当時の宇土駅が消え去ろうとしています。

写真誌編集は宇土駅の130年の歴史を振り返り駅舎とその周辺の変遷を資料と写真で紹介「記憶を記録」として次世代に残すことを目的としています。



宇土駅は明治28年(1895年)初代九州鉄道が

川尻駅から松橋駅まで開通した時に開業

それから130年の歴史を刻んできた宇土駅

開業以来、地域の交通の要衝として重要な
役割を果たし、幾多の変遷を経て現在に至っている。

子ども目線で記憶に残る宇土駅とその界限

時の経過と共に駅舎と駅周辺界限も変貌し

さらには写真や資料も散逸して、記憶から消え去ろうとしている。

提供いただいた写真や資料は、宇土駅の歴史を

知る上で欠かせないものとなりました。

「宇土駅130年の軌跡」写真誌で

宇土駅を振り返り、思い出と共にその歩みを感じ、

記憶に留めて頂ければ幸いです。



写真 ゆるキャラ『うとん行長しゃん』
宇土市にゆかりのある歴史上の人物小西行長を
モチーフに制作したゆるキャラ

編集・制作・発行

九谷新吾(編集時73歳)

熊本県宇土市三拾町119-1

発行 令和7年5月15日(2025年)

参考資料 新宇土市史 通史編

第三巻 近代・現代

広報うと・Wikipedia

印刷校正 木下洋介

写真転載厳禁

表紙写真

宇土市制施行10周年記念 仮装行列

宇土駅前の中野地区の皆さんと母も写る記念写真

昭和43年10月1日 1968年

写真提供 宇土市教育委員会

【写真提供】

JR九州

熊本日日新聞社

宇土市教育委員会

宇土市観光物産協会

宇土市立図書館

鉄道愛好家

・プラットフォーム

・多摩画像

・さいきの駅舎訪問

・くる〜りワンマン写真館

・駅好き misakitty

・鉄道雑学研究所

・世界を巡る旅

個人

・神本輝洋

・九谷弘一

・高川正英

・高濱俊一

・八別當千和

・見崎英之

[写真資料]

・宇土市史

・広報うと

・Google

Since 1895

「宇土駅 130年の軌跡」

時の流れを見続けた宇土駅

2025



開業から130年、宇土の発展とともに時の流れを見続けた宇土駅
写真誌は、宇土駅の歴史を振り返る「軌跡」として
駅舎や駅界限の変遷を記録し、次世代に歴史の記憶を継承することを目的に
写真で時の流れを紹介しています。



撮影 平成14年（2002年）2月 写真提供 さいきの駅舎訪問

古き良き時代
日常生活に溶け込み
通勤や通学で通った宇土駅
進学や就職、転勤
これから始まる新しい生活
期待と不安が交差し、
宇土駅から郷里を離れ旅立つ人々と
新たな新天地宇土駅のホームに降り立つ人
宇土駅改札口で
出会いと別れのドラマ見続けて来た駅舎
もうあの宇土駅の面影はない。

目次

- 「激動の昭和」そして復興への道 お召列車が宇土駅へ……………3～4
- 省営バスと貨物引込線、そして小袖餅の思い出……………5～6
- 宇土駅の日常 待合室と改札口、そしてホームの風景……………7～8
- 「その変貌に驚き」写真で宇土駅界限の記憶が蘇る……………9～10
- 交通の要衝 宇土駅と国道3号が育む宇土の未来……………11～12
- 新しい玄関口「宇土駅」は新たな歴史を刻み始めている……………13～14
- 宇土半島縦断 風光明媚な有明海と港町三角へ各駅訪問……………15～16
- 市史・広報うと、新聞で宇土駅の歴史が見えてくる……………17～18



撮影 平成14年（2002年）2月 写真提供 さいきの駅舎訪問